

令和5年秋期 六浦東地区推進連絡会要旨

1 日時

令和5年11月14日(火) 19:00~20:30

2 場所

関東学院大学 金沢八景キャンパス Foresight21・10階 中会議室

3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	13名
学校関係 (瀬ヶ崎小、六浦中、関東学院大)	3名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	13名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	7名
消防関係	2名

4 意見交換要旨

〈テーマ：六浦東地区地域緑化計画について〉

六浦東地区地域緑化計画の進捗状況についての報告を踏まえ、質疑があった。

(1) 何がきっかけで始まったのか。

→昨年、南共済病院に花畑を作るという活動を、瀬ヶ崎小学校の1年生が行った。その後「もっと地域に貢献したい」という思いを強くした南共済病院から「なにかできないか」と相談を受けたのがきっかけ。タイミングよく「地域緑のまちづくり」の助成金の応募があったので、緑を使って地域のつながりをつくるということを考えた。

(2) 事前に各自治会町内会への説明などを行ったのか。

→計画については地域の代表たる地区連会長のほか、関東学院大学、南共済病院などのメンバーで検討して作成。応募期限間近だったこともあり、また計画が無事認められるかも見通せなかったため、応募前に各町内会へ説明することはしなかった。今年3月の地区連合町内会総会で説明し、承諾を得られたため、横浜市と契約する運びとなった。

(3) 3年間で毎年度500万円の助成金を得られ、一方で毎年40万円の自己負担金が生じるとの説明もあったが、どういうことか。

→助成される500万円のうち、400万円が「緑化整備等経費」。これを助成してもらうためには10%の自己負担金を用意する必要があった。それ以外の100万円については自己負担金不要となっている。

〈テーマ：地域防災について〉

各自治会町内会から事前に提出された「防災課題シート」の内容について共有。区役所防災担当からの防災講話の後、意見交換がなされた。

(1) 地域住民の情報の集め方

- ・災害に備え、世帯の人数や災害時要援護者がいるのかなどの情報を把握する必要があると思うが、個人情報保護法の関係など懸念があり、情報収集が十分にできていない。
- ・住宅用火災警報器の点検のため、民生委員が消防署員と高齢者宅を回る中で防災の啓発をすることはあった。民生委員ともつながりを持とうとしない人たちとつながるといのはなかなか難しい。
- ・「個人情報保護」ばかり気にして身動きがとれないのもいかなものか。地道に一对一で話しながら関係作っていくしかないか。
- ・名簿作成の目的を説明し、協力をお願いするほかないのでは。
- ・どんな家族がいるのか、災害時要援護者がいるのかどうかなどという情報を、各家庭から書面で出してもらって、会長が持っている。

(2) 災害時の支援者の確保

- ・10年ほど前に要援護者と支援者を確認した。しかしながら、支援者が平日昼間に地元にはいない人たちであることから、問題意識を持っていた。5年ほど前に六浦中学校に防災の話をしに行った際に、「中学生なら平日昼間も地元において、一番頼りになる」と考え、「中学生に協力してほしい」と話をしたが、その後コロナ禍となってしまった。中学生の力を活用していきたい。

(3) 防災組織の在り方

- ・各自治会町内会の防災組織において、それぞれ「誘導役」などの役割を決めていると思うが、大きな災害が起きた時にそれぞれがその役割を全うできるものなのか疑問がある。実態にあった形を考えるべきだと思う。